

令和 6 (2024) 年度

自己評価報告書

学校法人 広島県東部美容学園

広島県東部美容専門学校

1.教育目標

基本理念

- ・学ぶ心を大切にし、向上心と研究心を養う教育をする。
- ・礼節を重んじ、社会的規範を尊重し、愛され信頼される美容師を育成する。
- ・基礎を重視し、将来に向けての具体的教育をする。

教育方針

基本理念に基づく人材育成と、美容師国家試験に合格することを目指す。

2.本校の特色

教員全員が一丸となり、美容師国家試験 100%を目指します。

学校法人広島県東部美容学園が設置する、美容単科の学校で、常に業界と密接な連携を保ち 1 人 1 人の希望に合う就職先を決定することが可能です。

学校教育法に基づく専門学校であり、教育基本法の趣旨に添った教育を旨としている。

損害保険に学校が加入しており、全生徒に安心の補償制度があります。

3.自己評価

【 5：良好 4：適切 3：概ね適切 2：やや不適切 1：不適切 】

I 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価
(1)	学校のビジョン及びそれを実現するための方策を策定し、尚且つ教職員に理解されているか	4
(2)	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	4
(3)	社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか	4
(4)	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知がなされているか	4
(5)	教育目標、育成人材は学科等に対する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

課題

- ・個人個人の考え方に関して差異が生じている点があるのではないかと思う。
- ・一人の社会人として活躍できる人材育成。

今後の改善策

- ・考え方の一致の徹底。
- ・厳しいことをあまり言わっていない学生が多いが社会で通用するためにも愛情を持った厳しさでの指導を引き続き行う。

II 学校運営

	評価項目	評価
(1)	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(3)	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(4)	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(5)	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(6)	教職員の健康診断を実施しているか	5
(7)	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
(8)	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	3
(9)	ホームページは適宜更新し、見やすくしているか	5
(10)	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	4
(11)	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	4

課題

- ・業務の効率化。
- ・業務のシステム化（教務システムの導入等）。

今後の改善策

- ・共有できるものは活用、無駄をなくす。
- ・システム化されることで業務多重面が緩和しスマート化できるのではないか。
- ・今年度 WEB 出願システムを導入済み。さらに教務システムを導入し WEB 出願システムの情報を連携すれば効率化が図れる。

III 教育活動

	評価項目	評価
(1)	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(2)	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
(4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実行されているか	4
(5)	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(6)	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	5
(7)	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(8)	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(9)	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(10)	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(11)	人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(12)	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4
(13)	職員の能力開発のための研修が行われているか	4
(14)	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5

課題

- ・教員の補充。
- ・教員個人のレベルアップ。
- ・試験等に対して考え方の相違がある。

今後の改善策

- ・引き続き求人募集を行う。
- ・より学生の理解が得られるような指導方法の意見交換を行っていく。
- ・試験実施の意味の統一。

IV学修成果

	評価項目	評価
(1)	就職率の向上が図られているか	4
(2)	資格取得率の向上が図られているか	4
(3)	中途退学者の低減が図られているか	3
(4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(5)	卒業後のキャリア形式への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

課題

- ・資格取得や就職に対する意識、意欲が下がってきてている。
- ・学力、技術の低い学生ほど勉強、練習をしない。
- ・中途退学者が例年数名いる。途中リタイア者を防ぐ。
- ・卒業生の状況把握が不十分である。

今後の改善策

- ・常に目的意識（短い目標、長い目標いずれも）を明確に日々誘導する必要がある。
- ・学生とのコミュニケーションをとる。
- ・学生のレベルによってグループ分けを行う（少人数制をうたっているため）など指導方法を工夫する。
- ・早い段階（手遅れになる前に）で保護者に伝えてご協力いただいて連携しながら学力、技術の向上に努める。
- ・卒業生サポート体制の構築とサポートシステムの導入。

V学生支援

	評価項目	評価
(1)	学生生活、進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(2)	学生相談に関する体制は整備されているか	4
(3)	奨学金等の経済的支援体制が整備されているか	5
(4)	学生の心身面での健康管理体制が整備されているか	4
(5)	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4

(6)	保護者と適切に連携しているか	4
(7)	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	4
(8)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

課題

- ・モチベーションが低い学生の増加。
- ・卒業生の状況把握が不十分である。

今後の改善策

- ・美容師としてだけでなく、社会人としての役割についてもしっかり考える機会を設ける。
- ・卒業生サポート体制の構築とサポートシステムの導入。

VI教育環境

	評価項目	評価
(1)	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(2)	学内外の実習施設、インターンシップの場等について十分な教育体制を整備しているか	4
(3)	防災に対する体制は整備されているか	4

課題

- ・施設設備の老朽化。
- ・不具合が多くなっている。

今後の改善策

- ・改築・新築等（現在、理事会・評議員会にて検討中）。

VII学生の受入れ募集

	評価項目	評価
(1)	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
(2)	学生募集活動は、適正に行われているか	4
(3)	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
(4)	学生納付金は妥当なものとなっているか	4

課題

- ・広報活動が少ない分、学内オープンスクールでカバーしている。
- ・学納金について物価上昇により教材選定に苦慮。

今後の改善策

- ・引き続き高校訪問で卒業生、在校生の状況をお伝えし、本校の特徴をお知らせする。
- ・引き続きオープンスクール内容の充実を図る。
- ・学納金の増額。

VIII財務

	評価項目	評価
(1)	予算計画、年間行事計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5
(2)	財務について会計監査が適正に行われているか	5
(3)	財務情報公開の体制整備はできているか	5

課題

- ・特になし。

今後の改善策

IX 法令等の遵守

	評価項目	評価
(1)	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
(2)	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	4
(3)	学生、非常勤講師や教職員等の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
(4)	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
(5)	自己評価結果を外部に対して公表しているか	4

課題

- ・多様化する学生対応に困惑している。

今後の改善策

- ・保護者またはサロンオーナーとの連携。

X 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(1)	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(2)	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
(3)	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

課題

- ・地域での活動が出来ていない。
- ・高校等から要請があれば行っているが積極的には行えていない。

今後の改善策

- ・できるだけお役に立てることが貢献できるようにする。
- ・要請を受けた際、なるべく実行できるよう検討は行うが要請依頼時期などにより困難なこともある。引き続き要請、検討を繰り返すしかないと考える。
- ・近くの介護施設等へのアプローチを検討することを考える。